

はが

地域ぐるみの国際交流が博報賞受賞!!

「野原小学校・NJAの活動」

野原小学校（波賀町野尻）では、オーストラリアのアイアンサイド小学校（ブリスベ

ン市）と、隔年の相互訪問による国際交流活動を28年続けています。この交流活動は、学校を中心に保護者や地域住民によって組織されたNJA（野原日豪親善交流会）の支援により実施されています。

このたび、長年の取り組みが認められ「第39回博報賞（国際文化理解教育部門）」と「文部科学大臣奨励賞」を同時受賞しました。

「地域と一緒に取り組んだ



英語学習にも力を入れ、昨年は第14回目のスタディーツアー行(66名)を地域をあげて迎えました。

『地域力』が評価されたことがうれしい」と、新庄康史校長。

昨年の訪日では、4泊5日のホームステイ中に、学校での授業参加やNJA企画のふれあい行事（夕食会・盆踊りなど）の体験を中心とした交流活動が実施されました。

子ども同士おなじみの顔もあり、言語・人種・文化を超えた交流に、28年の活動の成果がでていきます。

（波賀支部 森井裕矢）

※博報賞：優れた教育活動に取組む個人や団体を表彰する賞



今年7月には5・6年生全員を含む訪豪団25名がアイアンサイド小学校を訪問し、歓迎会で傘踊りなどを披露しました

ちくさ

今年で31回目

「お食事とおしゃべりの楽しいつどい」

千種支部では、11月1日（土）、千種保健福祉センターにおいて、支部内の一人・二人暮らし高齢者を招き、「お食事とおしゃべりの楽しいつどい」を開催

しました。

このつどいは、会場の飾りつけを民生委員児童委員協議会が、食事の準備は食生活改善委員会が、案内や準備等を社会福祉協議会が担当し、食事をしながら、交流を図るため毎年行っています。

特に、食生活改善委員会のメンバーは、働き盛りの若い世代が多く、同じ地域にいな

と話されていました。

「大勢と話せてこんな楽しい日はない。次回も元気で参加しようで。」と参加者同士励ましあう姿もありました。このつどいを通して、顔見知りが増え、気軽に声かけや見守りができる地域になることを期待しています。

（千種支部 山本めぐみ）



支部内の一人暮らし高齢者（70歳以上）ふたり暮らし高齢者（75歳以上）231人中65名が参加



「メロディーヌ」によるハンドベル演奏や矢部伸一さんの落語で、会場は一段と和やかでした。